

自己形成スキル（SSE）

第11回

第3ステップ 「要約作成の方法」



1. 「前半部」では本の重要部分を要約しよう

図書の「オープニング部分」の要約方法

→ 新聞記事や短い論文・報告書などの
要旨(サマリー)を作成にも応用できる

。



2. 基本姿勢は「肉を落として骨だけ残す」

- ① 副次的部分の「省略」:
事例や比喻、比較・対比の表現などをカット
- ② 短文・短語への「置き換え」:
長い文、複雑な言い回し、飾りの多い表現を
簡潔に言いかえる



3. 要約作成の一例

(森永卓郎『非婚のすすめ』より)

原文【段落A】

シングルを続けると一子子供は持てない、
そう考えるのが、日本では一般的な理解だろ
う。一九七〇年代に未婚の母がブームにな
った時も、その珍しさが注目を集めただけで
、一般の女性が未婚の母に走りはじめたわ
けではなかった。いくら「翔んでる女」がブー
ムになったところで、婚外子を持つ親に向け
られる冷たい視線や子供を育てる際の経済
的、社会的な障害の多さを考えれば、おいそ
れとシングルのまま子供を産むわけにはい
かなかったからである。(207字)



要約【段落A】

シングルを続けると一生子女は持てないと考えるのが日本では一般的だ。婚外子を持つ親への冷たい視線や、育児に関わる経済的、社会的な障害があるためだ。(72字)



原文【段落B】

それにもかかわらず、最近では若い女性
の間に、結婚でしばられたくはないけれど、
子供だけは欲しいという希望を言う人がずい
ぶん増えてきた。そうした彼女たちの希望は
一部の人たちからはひどく不道德なものとし
て非難されるかもしれない。しかし、結婚しな
いと子供がもてないという「常識」は、決して
わが国の伝統や文化に裏打ちされたものでは
なく、先進国に共通したものでもない。極
端に言えば、戦後の日本に突然現れたもの
なのである。(204字)



要約【段落B】

だが最近、結婚しなくても子供は欲しいと言う若い女性が増えてきた。それを不道德と考える人もいるが、結婚しないと子供が持てないという「常識」は戦後の日本に突然現れたものだ。(84字)

